

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																													
ECC国際外語専門学校		2/20/1984		大谷内 圭		〒 530-0015 (住所) 大阪市北区中崎西2丁目1番6号 (電話) 06-6311-1446																													
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																													
学校法人山口学園		11/22/1983		酒元 英二		〒 530-0015 (住所) 大阪府大阪市北区中崎西2-3-35 (電話) 06-6366-1440																													
分野		認定課程名		認定学科名		専門士認定年度																													
文化・教養		語学ビジネス専門課程		国際キャリア学科 (グローバル英語コース)		平成30(2018)年度																													
高度専門士認定年度		職業実践専門課程認定年度																																	
高度専門士認定年度		-				-																													
学科の目的 本学は学校教育法及び教育基本法に基づき、語学ビジネス専門教育を通じて、実社会に有用な人材の育成を目的とする。以て国際間の人々の交流と相互理解を促進し、世界の文化向上とその恒久平和樹立に寄与したい。本学科はグローバルな視野と優れたコミュニケーション力を備え、多文化共生社会に貢献できる人財育成を目的とする。																																			
学科の特徴（取得可能な資格、中退率等） コース専門科目では、国際的なビジネスシーンで通用する「社会的な英語力」を養う。共通英語家屋「聞く」「話す」「読む」「書く」の英語の4技能に加え、自ら探究し、自分の考えを深め、思いを発信する自立技能3技能「調べる」「考える」「伝える」の全7技能を養う。																																			
修業年限		昼夜		全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義																													
3		昼間		※単位時間、単位いずれかに記入 2,550 単位時間		2,460 単位時間																													
				単位		単位																													
				240 単位時間		単位時間																													
				単位		単位																													
				単位		単位																													
				単位		単位																													
				単位		単位																													
生徒総定員		生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)																													
345人		63人		0人		0%																													
						中退率																													
						5%																													
就職等の状況 <table border="1"> <tr><td>■卒業者数</td><td>15</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職希望者数(D)</td><td>11</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職者数</td><td>11</td><td>人</td></tr> <tr><td>■地元就職者数</td><td>11</td><td>人</td></tr> <tr><td>■就職率(E/D)</td><td>100</td><td>%</td></tr> <tr><td>■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)</td><td>100</td><td>%</td></tr> <tr><td>■卒業者に占める就職者の割合(E/C)</td><td>73</td><td>%</td></tr> <tr><td>■進学者数</td><td>1</td><td>人</td></tr> <tr><td>■その他</td><td></td><td></td></tr> </table> <p>3名アルバイト・パート(1名)自主的未就業(2名)</p> <p>(令和6年度卒業者に関する令和7年5月1日時点の情報)</p> <p>■主な就職先、業界等 (令和6年度卒業生) W大阪、ホテル近鉄ユニバーサルシティ、HYT、CLOCK、フォーシーズンズ大阪、全日警、テトラポット、エイジェック、ニチイ学館、WDI JAPAN、テトラポット</p>								■卒業者数	15	人	■就職希望者数(D)	11	人	■就職者数	11	人	■地元就職者数	11	人	■就職率(E/D)	100	%	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)	100	%	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)	73	%	■進学者数	1	人	■その他			
■卒業者数	15	人																																	
■就職希望者数(D)	11	人																																	
■就職者数	11	人																																	
■地元就職者数	11	人																																	
■就職率(E/D)	100	%																																	
■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)	100	%																																	
■卒業者に占める就職者の割合(E/C)	73	%																																	
■進学者数	1	人																																	
■その他																																			
第三者による学校評価		■民間の評価機関等から第三者評価:		無		無																													
		※有の場合、例えば以下について任意記載																																	
		評価団体:		受審年月:		評価結果を掲載したホームページURL																													
当該学科のホームページURL		https://kokusai.ecc.ac.jp/course/english/																																	
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)		(A:単位時間による算定) <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>2,700 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>0 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>180 単位時間</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>2,700 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>0 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>180 単位時間</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>0 単位時間</td></tr> </table> (B:単位数による算定) <table border="1"> <tr><td>総単位数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の単位数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち必修単位数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の単位数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)</td><td>単位</td></tr> </table>						総授業時数	2,700 単位時間	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	0 単位時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	180 単位時間	うち必修授業時数	2,700 単位時間	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	0 単位時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	180 単位時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	0 単位時間	総単位数	単位	うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	単位	うち企業等と連携した演習の単位数	単位	うち必修単位数	単位	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	単位	うち企業等と連携した必修の演習の単位数	単位	(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)	単位
総授業時数	2,700 単位時間																																		
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	0 単位時間																																		
うち企業等と連携した演習の授業時数	180 単位時間																																		
うち必修授業時数	2,700 単位時間																																		
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	0 単位時間																																		
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	180 単位時間																																		
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	0 単位時間																																		
総単位数	単位																																		
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	単位																																		
うち企業等と連携した演習の単位数	単位																																		
うち必修単位数	単位																																		
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	単位																																		
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	単位																																		
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)	単位																																		
教員の属性(専任教員について記入)		<table border="1"> <tr> <td>① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを合算して六年以上となる者</td> <td>(専修学校設置基準第41条第1項第1号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>② 学士の学位を有する者等</td> <td>(専修学校設置基準第41条第1項第2号)</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>③ 高等学校教諭等経験者</td> <td>(専修学校設置基準第41条第1項第3号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>④ 修士の学位又は専門職学位</td> <td>(専修学校設置基準第41条第1項第4号)</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>⑤ その他</td> <td>(専修学校設置基準第41条第1項第5号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>4人</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数</td> <td></td> <td>3人</td> </tr> </table>						① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを合算して六年以上となる者	(専修学校設置基準第41条第1項第1号)	0人	② 学士の学位を有する者等	(専修学校設置基準第41条第1項第2号)	3人	③ 高等学校教諭等経験者	(専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人	④ 修士の学位又は専門職学位	(専修学校設置基準第41条第1項第4号)	1人	⑤ その他	(専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0人	計		4人	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		3人							
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを合算して六年以上となる者	(専修学校設置基準第41条第1項第1号)	0人																																	
② 学士の学位を有する者等	(専修学校設置基準第41条第1項第2号)	3人																																	
③ 高等学校教諭等経験者	(専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人																																	
④ 修士の学位又は専門職学位	(専修学校設置基準第41条第1項第4号)	1人																																	
⑤ その他	(専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0人																																	
計		4人																																	
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数		3人																																	

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

グローバルな視野と高いコミュニケーション力を有し、優れたコミュニケーション力を備え、多文化共生社会に貢献できる人財育成の為、国際キャリア学科グローバル英語コース教育課程編成委員として業界、企業等の役職員を選出し、企業等の様々な意見や要請などを十分に活かしながら、実践的かつ専門的そして、先駆的な職業教育モデルを構築し、中核的専門人材の養成教育を展開する。年2回の教育課程編成委員会では以下の事項について協議をし、各授業科目の改善や工夫等に活用、反映する。

教育課程編成委員会での協議内容

1. 年2回実施する、学生アンケート結果や授業内容・進路内容・学校生活等の情報をもとに授業内容・学習成果・進路成果を分析し、改善策を協議する。
2. 就職先企業に卒業生の就労状況のヒアリング、企業・業界からの新たなニーズや要望等、職業人として必要な要素や課題の情報収集を行い、改善策を協議する。また、企業研修（インターンシップ）の事前教育、研修期間中、事後教育における企業との連携・調整の改善をおこなう。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

国際キャリア学科グローバル英語コースでは、豊富なアウトプット学習を通じて、ビジネスで通用する英語運用能力、発信力、コミュニケーション力、さらにグローバルビジネススキルや社会人基礎力を育成するために、これらの分野に知見を有する企業、団体等との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を適切かつ円滑に行う為の組織として学内に教育課程編成委員会を置く。

以下の①～④の流れに沿って編成委員会において、教育課程の改善を図る。

- ① 教務課：教育に関する現状分析と課題をまとめ③の教育課程編成委員会に資料提出する。
- ② 進路指導課：進路指導に関する現状分析と課題をまとめ③の教育課程編成委員会に資料提出する。
- ③ 教育課程編成委員会：教務課・進路指導課からの課題を受け、企業・業界の立場から改善策の協議と提案を行う。
- ④ 学内カリキュラム編成委員会：国際キャリア学科グローバル英語コース教育課程編成委員会での協議内容に基づき、改善策の審議を経て、最終的には学校長が実施可否を決定する。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年9月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
城田 賢吾	一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会	令和5年4月1日～令和 7年3月31日（2年）	①
本庄 由美子	京阪ホテルズ&リゾーツ 株式会社	令和5年4月1日～令和 7年3月31日（2年）	③
村上 剛	株式会社 CLOCK	令和6年4月1日～令和 8年3月31日（2年）	③
内野 龍樹	株式会社安心堂	令和7年4月1日～令和 9年3月31日（2年）	③
大谷内 圭	ECC国際外語専門学校 学校長	令和6年4月1日～令和 8年3月31日（2年）	—
東井 喜美	ECC国際外語専門学校 副校長	令和6年4月1日～令和 8年3月31日（2年）	—
杉田 典彦	ECC国際外語専門学校 キャリアセンター責 任者	令和6年4月1日～令和 8年3月31日（2年）	—
榊原 悠祐	ECC国際外語専門学校 教務課責任 者	令和6年4月1日～令和 8年3月31日（2年）	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「-」を記載してください。)

- ① 業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ② 学会や学術機関等の有識者
- ③ 実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回（7月～8月、2月～3月）

(開催日時（実績）)

第1回 令和6年8月7日 10:00～12:00

第2回 令和7年2月3日 10:00～12:00

第1回 令和7年7月29日 10:00～12:00

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

・グローバル社会で活躍するためには、語学力（英語）に加え時事関連の知識や教養を深めることは必須であり、日本語の運用能力を高めることが英語運用能力の向上につながる。日本語でできないことは英語でもできないという意見を参考に、2024年度日本語でプレゼンテーションや意見交換を行う授業を2年次後期に新設。日本語運用能力から英語発信力への展開や情報の分析、聴衆者のニーズ分析、原稿の作成方法、発表方法を学び、論理的思考力の育成を促す多層的な構成の授業を提供した。

・各界で活躍している卒業生に直に接する機会を創出することで在校生のやる気向上や卒業生が自身の成長を教員に見てもらえたという自己肯定感に繋がるというご意見をいただき、卒業生との関係構築と在校生の将来のキャリアパスを考える手助けとして卒業生を招いての座談会を実施。卒業生たちが自身の体験を共有し、仕事内容や将来像について語ることで在校生の就職活動への意識を高められた。

学生の主体性を養うための仕組みづくりに対する委員会の助言を受け、学ぶ目的と将来の目標を明確化するために対話・内省・傾聴を軸にしたコーチング形式の科目を新設。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

1. 企業等との連携による実習・演習等の目的

- ・ 業界の実態を理解するために仕組み、内容、最新情報・技術を学生に授業を通じて提供する。
- ・ 業界での現場体験することにより、接客実戦（経験）力を高める。企業等と連携して実習・演習を行う。

2. 企業等との連携による実習・演習等の運営

- ・ 企業等との連携による実習・演習等は本校教員と企業等から派遣された担当者が共同して実施する場合と、企業等から提供されたカリキュラム及び教材をもとに本校教員が授業を実施する場合がある。
- ・ 実施された実習・演習等については教務責任者、コース担任及び教育課程編成委員会で内容を検証し改善を図る。

3. 企業等との連携による実習・演習等の評価

- ・ 本校教員と企業担当者が共同して実施する場合は、授業の成果に対して企業担当者の評価を基に本校教員が成績評価を行う。
- ・ カリキュラム等を提供されて実施する場合は、企業等の成績評価規程に従って本校教員が成績評価を行う。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

事前に交流テーマ、進め方について打ち合わせを行い、学習内容の詳細・評価方法について定める。オンライン交流は海外各地の同年代の学生（大学生・専門学校生）と計7回実施する。交流はグループに分かれて行う（1グループ4から5名程度）。各グループにアシスタント講師が1名付く。アシスタント講師は相手国との間に入り、ファシリテーターと語学の補助を行いつつ、各学生の取り組み姿勢や学習の進捗度、学修成果をチェックし、レポートにまとめる。交流前の

予の補助を行い、プレゼン、電子エの取り組の姿勢や予目の進捗度、予修成果をフィードバックし、レポートによとめる。又、前の授業では、交流テーマに合わせて資料や話す内容の準備時間としている。

科目の総合評価は

国際交流評価50%、準備クラス評価50%とする。国際交流評価は、企業から学生個々に取り組みについてフィードバックを行う。準備クラス評価は、スライド作成、プレゼン練習、取り組み姿勢等を学内担当教員と企業が協議し評価する。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
Global Studies(多文化理解) IA	2. 【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	グローバル社会に対応した英語運用能力のうち、とりわけ非英語圏の、英語を第一言語としない話者同士での意思疎通力の修得を目指す。授業内でアジア諸国の大学生・専門学校生とオンラインで意見交換することを前提として、口頭で紹介可能な文化交流を行う。当該科目は、2年かけて学びを深めていく設計をしており、1年目前期は海外国の英語に慣れ親しむことを目標とし、リスニング力を高めることを目標とする。	株式会社With The World
Global Studies(多文化理解) IB	2. 【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	グローバル社会に対応した英語運用能力のうち、とりわけ非英語圏の、英語を第一言語としない話者同士での意思疎通力の修得を目指す。授業内でアジア諸国の大学生・専門学校生とオンラインで意見交換することを前提として、口頭で紹介可能な文化交流を行う。当該科目は、2年かけて学びを深めていく設計をしており、1年目後期は、前期のリスニング力に加え、海外生の発表を理解し積極的にプレゼン内容についての発言をすることを目標とする。	株式会社With The World
Global Studies(多文化理解) IIA	2. 【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	グローバル社会に対応した英語運用能力のうち、とりわけ非英語圏の、英語を第一言語としない話者同士での意思疎通力の修得を目指す。授業内でアジア諸国の大学生・専門学校生とオンラインで意見交換することを前提として、口頭で紹介可能な文化交流を行う。当該科目は、2年かけて学びを深めていく設計をしており、2年目前期は、1年次で得た英語力をベースに、発表内容に加え自分の意見や見解を示す頻度を増やすことを目標とする。	株式会社With The World
Global Studies(多文化理解) IIB	2. 【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	グローバル社会に対応した英語運用能力のうち、とりわけ非英語圏の、英語を第一言語としない話者同士での意思疎通力の修得を目指す。授業内でアジア諸国の大学生・専門学校生とオンラインで意見交換することを前提として、口頭で紹介可能な文化交流を行う。当該科目は、2年かけて学びを深めていく設計をしており、1年目後期は、前期のリスニング力に加え、海外生の発表を理解し積極的にプレゼン内容についての発言をすることを目標とする。	株式会社With The World

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

「教務規約第35条」に定められている通り、以下の基本方針を定めている。

1. 推薦学科の教員に対する研修・研究の目的

教員の質を一定以上に保つことと技術の向上のために、業界で使用されている標準技術、最新技術等を教員が直接企業等から学ぶ研修と、教授技術等の教育に関わる研修を毎年度それぞれ1回以上実施する。

2. 推薦学科の教員に対する研修・研究の運営

研修については講師を本校に迎え入れて教員全員が同時に受講する全体研修と、一部の教員が参加する外部研修を適時組み合わせさせて実施する。一部の教員が参加する外部研修については、その研修内容について報告会を実施するなどして教員全体へその情報を伝える。

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

「教務規約第35条」に定められている通り、以下の基本方針を定めている。

1. 推薦学科の教員に対する研修・研究の目的

教員の質を一定以上に保つことと技術の向上のために、業界で使用されている標準技術、最新技術等を教員が直接企業等から学ぶ研修と、教授技術等の教育に関わる研修を毎年度それぞれ1回以上実施する。

2. 推薦学科の教員に対する研修・研究の運営

研修については講師を本校に迎え入れて教員全員が同時に受講する全体研修と、一部の教員が参加する外部研修を適時組み合わせさせて実施する。一部の教員が参加する外部研修については、その研修内容について報告会を実施するなどして教員全体へその情報を伝える。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	国際交流カリキュラムと海外英語教育の現状・オンライン交流の効果的な方法について双方向型研修	連携企業等:	株式会社With The World
期間:	8/6/2024	対象:	教職員
内容:	海外の英語教育の実情、オンライン交流をする上での効果的な実施方法や交流テーマについて、また他校と本校の国際交流カリキュラムの相違点等、双方意見を交えて学び、知見を深める。		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	Hyper-QU結果の活用研修	連携企業等:	(株)図書文化社
期間:	5/2/2024	対象:	教職員
内容:	休退学防止の一環として取り組んでいるQUアンケートについて、学生対応・組織作りに関する課題を可視化し、改善するしくみを学びます。		
研修名:	心のサポーター養成研修	連携企業等:	大阪市こころの健康センター
期間:	11/11/2024	対象:	教職員
内容:	心の不調に気づき、適切に対応できることが目的にこころの病気の疫学、こころの病気からの回復、メンタルヘルスファーストエイドについて学び、聴くワークを通して、実践的なスキルを身に付ける。		
研修名:	Hyper-QU結果の活用研修	連携企業等:	(株)図書文化社
期間:	平成36年5月2日	対象:	教職員
内容:	休退学防止の一環として取り組んでいるQUアンケートについて、学生対応・組織作りに関する課題を可視化し、改善するしくみを学びます。		
研修名:	心のサポーター養成研修	連携企業等:	大阪市こころの健康センター
期間:	平成36年11月11日	対象:	教職員
内容:	心の不調に気づき、適切に対応できることを目的にこころの病気の疫学、こころの病気からの回復、メンタルヘルスファーストエイドについて学び、聴くワークを通して、実践的なスキルを身に付ける。		

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	オンライン国際交流の質を高める実践研修	連携企業等:	株式会社With The World
期間:	6/13/2025	対象:	教職員
内容:	オンライン国際交流に向け、事前のマインドセットづくりや、海外校と本校それぞれでの授業への取り組み方英語によるオンラインプレゼンテーションのポイントなどを学び、交流をより充実させるための手法や指導法について勉強会形式で習得する。		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名: Hyper-QUアンケート結果の活用研修	連携企業等: (株)図書文化社
期間: 5/21/2025	対象: 教職員
内容: 同社が提供するHyper-QUアンケートの分析結果によるクラスや学生の状況を把握し、組織作りに関する課題を可視化。クラスを改善するしくみや課題別学生指導や対応方法について学ぶ。	
研修名: 配慮が必要な学生を支える授業マネジメント	連携企業等: 特定非営利活動法人 キッズレクリエーションクラ
期間: 7/28/2025	対象: 教職員
内容: 配慮を必要とする学生の特徴や状況を理解し、必要な支援を見極めながら、個々の特徴に応じた柔軟な対応と授業方法の工夫を学び、学生の主体性や学習意欲を高める関わり方について考える。	
研修名: 教育現場の安心と信頼を守るコンプライアンス研修	連携企業等: 鳩谷・別城・山浦法律事務所
期間: 3/10/2026	対象: 教職員
内容: 学生と教員の立場を踏まえた適切な接し方や指導法を学び、パワハラ・アカハラの具体例を通じて線引きと未然防止策を理解し、信頼関係構築に必要な対話力や相談対応力の向上を図る。	

(別途、以下の資料を提出)

- * 研修等に係る諸規程
- * 研修等の実績(推薦年度の前年度における実績)
- * 研修等の計画(推薦年度における計画)

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の「学校評価実施規定」に学校関係者評価について以下のように定めている。

(学校関係者評価)

第11条 校長は自己評価の結果を本校の関係者により組織した学校関係者評価委員会(以下「関係者委員会」という。)に報告し、意見を聴き、その意見を尊重し、教育活動及び学校運営に活用しなければならない。

(関係者委員会の構成)

第12条 関係者委員会は、次に掲げる区分から校長が委託する委員により構成する。

(1) 関連業界等関係者 2名以上 (2) 卒業生 1名 (3) 保護者または地域関係者 1名 (4) その他校長が必要と認める者1名

2 委員の任期は、2年とする。ただし再任を妨げない。

(関係者委員会の運営)

第13条 関係者委員会に委員長を置く。

2 関係者委員会は、校長が招集し、委員長がその運営にあたる。

3 校長が必要と認める場合は、関係者委員会に委員以外の者の出席を求めることができる。

4 関係者委員会は、委員の過半数が出席しなければ開会することができない。

5 関係者委員会は、自己評価の進捗状況に応じ次年度の計画策定までの間に開催しなければならない。

(報酬及び費用弁償)

第14条 関係者委員会の報酬及び費用弁償については、本校が定める基準により支払う。

(学校関係者評価の評価結果)

第15条 委員長は、関係者委員会による評価結果をまとめ、報告書を作成しなければならない。

(学校関係者評価の活用)

第16条 教職員は、学校関係者評価の結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に努めなければならない。

(学校関係者評価結果の報告)

第17条 校長は、学校関係者評価結果を理事会に報告しなければならない。

(学校関係者評価結果の公表)

第18条 校長は学校関係者評価結果について公表しなければならない。

(その他)

第19条 本規定に定めるもののほか本校の学校評価に関し必要な事項は、校長が別に定める。

本校ではこの「学校評価実施規定」に則り、年間1～2回、学校関係者評価委員会を開催、学園ホームページ上に公開している。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の理念・目的・育人人材像は定められているか ・学校における職業教育の特色は何か ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか ・学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか ・各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて

<p>(2) 学校運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目的等に沿った運営方針が策定されているか ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか ・人事、給与に関する規定等は整備されているか ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
<p>(3) 教育活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。 ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか ・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実習等)が体系的に位置づけられているか ・授業評価の実施・評価体制はあるか ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか ・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を就職率の向上が図られているか
<p>(4) 学修成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得率の向上が図られているか ・退学率の低減が図られているか ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか
<p>(5) 学生支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか ・学生相談に関する体制は整備されているか ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか ・課外活動に対する支援体制は整備されているか ・学生の生活環境への支援は行われているか ・保護者と適切に連携しているか ・卒業生への支援体制はあるか ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
<p>(6) 教育環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか ・防災に対する体制は整備されているか
<p>(7) 学生の受入れ募集</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学生募集活動は、適正に行われているか ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか ・学納金は妥当なものとなっているか
<p>(8) 財務</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・財務について会計監査が適正に行われているか ・財務情報公開の体制整備はできているか
<p>(9) 法令等の遵守</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか ・自己評価結果を公開しているか

(10) 社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか
(11) 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか ・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか ・留学生の学修・生活指導について学内に適切な体制が整備されているか ・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学修成果に関しては、教務課とキャリアセンターで連携と目標共有の仕組み強化が必要とのご意見をを受け、学生が学期ごとに作成する目標設定シートを両部署で共有し、定期的に会議を開催して指導方法や体制を協議している。職業観の醸成が課題となる語学系コースについては、柔軟な目標設定に加え、インターンシップ等の職業体験機会を企業と連携して検討を進めている。さらに、保護者委員からの提案を踏まえ、就職活動の進捗共有や保護者間交流の場として、保護者面談会時に茶話会を実施することとした。今後も、委員からいただいた提案や助言を教育活動に積極的に反映させ、学生・保護者・卒業生それぞれにとって実態に即した、より充実した学校運営を推進していく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
五十嵐 駿太	株式会社 With The World 代表取締役社長	令和6年4月1日～令和8年3月31日 (2年)	企業等委員
國府 昭義	三井不動産 リゾートマネジメント株式会社 HOTEL THE MITSUI KYOTO 副総支配人/人材開発部長	令和7年4月1日～令和9年3月31日 (2年)	企業等委員
中上 隆雄	済美地域社会福祉協議会 会長	令和7年4月1日～令和9年3月31日 (2年)	地域委員
貴治 康夫	高等学校教員	令和7年4月1日～令和9年3月31日 (2年)	高校教員
荒木 駿汰	卒業生	令和6年4月1日～令和8年3月31日 (2年)	卒業生
小笠原 梨乃	卒業生	令和7年4月1日～令和9年3月31日 (2年)	卒業生
高田 由紀子	保護者	令和6年4月1日～令和8年3月31日 (2年)	保護者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL : <https://kokusai.ecc.ac.jp/>

公表時期 : 平成37年7月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校では、文部科学省生涯学習政策局が平成25年3月に発表した「専修学校における学校評価ガイドライン」附属資料5「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の趣旨および取組に当たっての視点、情報提供の内容・方法に則り、本校が設定する項目について本校及び学園のホームページ上で広く一般に公開するものとする。連携および協力する企業等の学校関係者に対してもホームページ上で公開している情報を提供するとともに、学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会等の委員会を通じて本校の教育活動その他の学校運営の状況について理解を深めていただくものとする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の教育・人材養成の目標及び教育指導計画、経営方針、特色、校長名、所在地、連絡先、学校の沿革、歴史、その他の諸活動に関する計画 例: 学校安全・保健対策等

(2)各学科等の教育	入学に関する受け入れ方針及び入学数、収容定員、在学学生数、カリキュラム(科目配当表(科目編成・授業時数)、時間割、使用する教材など授業方法及び内容、年間の授業計画進級・卒業の要件等(成績評価基準、卒業・終了の認定基準等)、学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定、資格取得、検定試験合格等の実績卒業生数、卒業後の進路(進学者数・主な進学先、就職者数・主な就職先)
(3)教職員	教職員数(職名別)教職員の組織、教員の専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、実習・実技等の取り組み状況、就職支援等への取り組み支援
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事への取組状況、課外活動(部活動、サークル活動、ボランティア活動等)
(6)学生の生活支援	学生支援への取組状況
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱い(金額、納入時期)活用できる経済的支援措置の内容等(奨学金、授業料減免等の案内等)
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、監査報告書
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果、評価結果を踏まえた改善方策
(10)国際連携の状況	留学生の受入れ・派遣状況、外国の学校等との交流状況
(11)その他	学則、学校運営の状況に関するその他の情報

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他()
 URL : https://kokusai.ecc.ac.jp/about/self_evaluation/
 公表時期 : 平成37年7月31日

授業科目等の概要

(語学ビジネス専門課程 国際キャリア学科 (グローバル英語コース))															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
								講義	演習	実験・実技	校内	校外	専任	兼任	
必修	選択必修	自由選択													
1		○	English Communication Training1SA	フィリピン人講師による1.4のセミプライベートレッスンです。All Englishで聞く・話す・読む・書く・発表するの5技能総合的に伸ばすことを目標とします。英語の発話の瞬発力、表現力を鍛えることを目標とし、Drill式の発話訓練も行います。【この科目はICT活用重点科目です】	1/前	150	10	○				○		○	
2		○	English Communication Training2SA	フィリピン人講師による1.4のセミプライベートレッスンです。All Englishで聞く・話す・読む・書く・発表するの5技能総合的に伸ばすことを目標とします。英語の発話の瞬発力、表現力を鍛えることを目標とし、Drill式の発話訓練も行います。【この科目はICT活用重点科目です】	1/前	150	10	○				○		○	
3		○	English Communication Training3SA	フィリピン人講師による1.4のセミプライベートレッスンです。All Englishで聞く・話す・読む・書く・発表するの5技能総合的に伸ばすことを目標とします。英語の発話の瞬発力、表現力を鍛えることを目標とし、Drill式の発話訓練も行います。【この科目はICT活用重点科目です】	1/前	150	10	○				○		○	
4		○	English Communication Training4SA	フィリピン人講師による1.4のセミプライベートレッスンです。All Englishで聞く・話す・読む・書く・発表するの5技能総合的に伸ばすことを目標とします。英語の発話の瞬発力、表現力を鍛えることを目標とし、Drill式の発話訓練も行います。【この科目はICT活用重点科目です】	1/前	150	10	○				○		○	
5		○	Practical Grammar1SA	中学3年程度までの英文法を完璧に理解し、英作文や会話で自分の表現として使えることを目指します。問題を解く形式で文法への理解を深めます。正しい答えを選べるだけでなく、なぜ他の選択肢がダメなのかを自身で説明できるようにまで理解できることを目指します。	1/前	60	4	○				○		○	
6		○	Practical Grammar2SA	中学3年程度までの英文法を完璧に理解し、英作文や会話で自分の表現として使えることを目指します。問題を解く形式で文法への理解を深めます。正しい答えを選べるだけでなく、なぜ他の選択肢がダメなのかを自身で説明できるようにまで理解できることを目指します。	1/前	60	4	○				○		○	
7		○	Practical Grammar3SA	英文法を基礎からしっかりとやり直し、深く理解することによって、英語の土台を築いていきます。英文の仕組みが分かれば、会話や読解にも応用が効きます。	1/前	60	4	○				○		○	
8		○	Practical Grammar4SA	高校中級程度までの英文法を完璧に理解し、自分の表現として使えることを目指します。問題を解く形式で文法への理解を深めます。	1/前	60	4	○				○		○	
9		○	Practical TOEIC1SA	1年終了時にTOEIC550点取得を目指して、TOEICの基本を学び、各パートごとにどのように解き進めていけばよいのかという試験対策とTOEIC独特のビジネス英語を取り扱います。	1/前	60	4	○				○		○	
10		○	Practical TOEIC2SA	1年終了時にTOEIC550点取得を目指して、TOEICの基本を学び、各パートごとにどのように解き進めていけばよいのかという試験対策とTOEIC独特のビジネス英語を取り扱います。	1/前	60	4	○				○		○	
11		○	Practical TOEIC3SA	1年終了時にTOEIC550点取得を目指して、TOEICの基本を学び、各パートごとにどのように解き進めていけばよいのかという試験対策とTOEIC独特のビジネス英語を取り扱います。	1/前	60	4	○				○		○	
12		○	Practical TOEIC4SA	1年終了時にTOEIC550点取得を目指して、TOEICの基本を学び、各パートごとにどのように解き進めていけばよいのかという試験対策とTOEIC独特のビジネス英語を取り扱います。	1/前	60	4	○				○		○	
13		○	Practical Reading1SA	読解力の向上と要約力の習得を目指し、社会的な内容の英文を読み、文章の展開パターンを理解し、内容理解を行います。語彙の強化も行います。学習アプリレンジャーの中で、テキストに準拠した内容理解の課題とシャドウイング音声の提出に取り組みます。	1/前	30	2	○				○		○	
14		○	Practical Reading2SA	読解力の向上と要約力の習得を目指し、社会的な内容の英文を読み、文章の展開パターンを理解し、内容理解を行います。語彙の強化も行います。	1/前	30	2	○				○		○	
15		○	Practical Reading3SA	読解力の向上と要約力の習得を目指し、社会的な内容の英文を読み、文章の展開パターンを理解し、内容理解を行います。語彙の強化も行います。	1/前	30	2	○				○		○	
16		○	Practical Reading4SA	読解力の向上と要約力の習得を目指し、社会的な内容の英文を読み、文章の展開パターンを理解し、内容理解を行います。語彙の強化も行います。	1/前	30	2	○				○		○	

54	○		World in Focus B	グローバル社会に対応した英語運用能力のうち、とりわけ非英語圏の、英語を第一言語としない話者同士との意思疎通の力の修得を目指し、授業内でアジア諸国の大学生・専門学校生とオンラインで意見交換することを前提として、口頭で紹介可能な文化交流トピックを取り扱います。	1/後	30	2		○		○		○		○
55		○	Weekly English Goals Elementary I A	GRIT(やり抜く力)を身に付け、英語学習に生かします。その週の学習ポイントと目標達成までの進捗状況を担当講師と確認します。毎日の学習状況を細かく記録し、学習成果を高めるレッスンです。勉強方法のTipsを学びオンライン問題に挑戦し、自律した学習者になるための習慣作りを行います。	2/前	30	2		○		○				○
56		○	Weekly English Goals Pre-Intermediate I A	GRIT(やり抜く力)を身に付け、英語学習に生かします。その週の学習ポイントと目標達成までの進捗状況を担当講師と確認します。毎日の学習状況を細かく記録し、学習成果を高めるレッスンです。勉強方法のTipsを学びオンライン問題に挑戦し、自律した学習者になるための習慣作りを行います。	2/前	30	2		○		○				○
57		○	Weekly English Goals Intermediate I A	GRIT(やり抜く力)を身に付け、英語学習に生かします。その週の学習ポイントと目標達成までの進捗状況を担当講師と確認します。毎日の学習状況を細かく記録し、学習成果を高めるレッスンです。勉強方法のTipsを学びオンライン問題に挑戦し、自律した学習者になるための習慣作りを行います。	2/前	30	2		○		○				○
58		○	Writing to Explore International Culture 1 Advanced 1 I A	自国の文化と異文化をトピックに、毎回異なるライティングスタイルでまとめた量の英文を書き、発表します。授業は週2回行い、毎週2回目の授業には留学生が参加し、留学生は自国の文化について説明をします。	2/前	30	2		○		○				○
59		○	Writing to Explore International Culture 1 Advanced 2 I A	自国の文化と異文化をトピックに、毎回異なるライティングスタイルでまとめた量の英文を書き、発表します。授業は週2回行い、毎週2回目の授業には留学生が参加し、留学生は自国の文化について説明をします。	2/前	30	2		○		○				○
60		○	Daily English Elementary I A	This is a low to medium level class that teaches fun, frequently used English phrases. These phrases include slang, idioms and expressions that are often used but cannot be found in the dictionary and are typically not taught in school. The goal of the class is to remember English phrases. 毎回授業の最初に前週までに学んだ表現をビルドアップ方式で完全暗記をします。コミック形式のライティングで学んだ表現のアウトプットを行います。	2/前	30	2		○		○				○
61		○	Daily English Pre-Intermediate I A	This is a low to medium level class that teaches fun, frequently used English phrases. These phrases include slang, idioms and expressions that are often used but cannot be found in the dictionary and are typically not taught in school. The goal of the class is to remember English phrases. 毎回授業の最初に前週までに学んだ表現をビルドアップ方式で完全暗記をします。コミック形式のライティングで学んだ表現のアウトプットを行います。	2/前	30	2		○	△	○				○
62		○	Daily English Intermediate I A	This is a low to medium level class that teaches fun, frequently used English phrases. These phrases include slang, idioms and expressions that are often used but cannot be found in the dictionary and are typically not taught in school. The goal of the class is to remember English phrases. 毎回授業の最初に前週までに学んだ表現をビルドアップ方式で完全暗記をします。コミック形式のライティングで学んだ表現のアウトプットを行います。	2/前	30	2		○	△	○				○
63		○	Design your own Adventure Advanced 1 I A	This class focuses on building reading and research skills through using authentic English language websites.	2/前	30	2		○		○				○
64		○	Design your own Adventure Advanced 2 I A	This class focuses on building reading and research skills through using authentic English language websites.	2/前	30	2		○		○				○
65		○	Business Showcase 1 I A	ビジネスの場で活用できる社会的な英語力の修得を目指し、実践に即したロールプレイング形式等を用いてビジネス英語およびその活用方法を取り扱います。とりわけビジネスにおける挨拶、交渉、電話、プレゼンテーションなどで活用し得るスキルを身につけます。	2/前	30	2		○	△	○				○
66		○	Business Showcase 2 I A	ビジネスの場で活用できる社会的な英語力の修得を目指し、実践に即したロールプレイング形式等を用いてビジネス英語およびその活用方法を取り扱います。とりわけビジネスにおける挨拶、交渉、電話、プレゼンテーションなどで活用し得るスキルを身につけます。	2/前	30	2		○		○				○
67		○	Business Workshop 1 I A	国内業務から海外出張まで幅広い状況を想定し、各場面においての適切な表現、フレーズ、対応の仕方やビジネス文化の違いなどを学びながらビジネス英語の観点から四技能を強化します。実践的なアプローチを取り入れグループワークを通して様々なシチュエーションに臨機応変に対応出来るようになる。	2/前	30	2		○	△	○				○
68		○	Business Workshop 2 I A	国内業務から海外出張まで幅広い状況を想定し、各場面においての適切な表現、フレーズ、対応の仕方やビジネス文化の違いなどを学びながらビジネス英語の観点から四技能を強化します。実践的なアプローチを取り入れグループワークを通して様々なシチュエーションに臨機応変に対応出来るようになる。	2/前	30	2		○	△	○				○
69		○	サーキットトレーニング 1 I A	グローバル社会に対応した英語運用能力のうち、発話力の修得・改善を目指します。そのために豊富なアウトプット学習の機会を設けて、英文法、発音、および英会話の基礎を取り扱います。	2/前	30	2		○	△	○				○
70		○	サーキットトレーニング 2 I A	グローバル社会に対応した英語運用能力のうち、発話力の修得・改善を目指します。そのために豊富なアウトプット学習の機会を設けて、英文法、発音、および英会話の基礎を取り扱います。	2/前	30	2		○	△	○				○

71		○	Practical Reading Elementary I A	読解力の向上と要約力の習得を目指し、社会的な内容の英文を読み、文章の展開パターンを理解し、内容理解を行います。 語彙の強化も行います。	2/前	30	2	○			○								
72		○	Practical Reading Pre-Intermediate I A	読解力の向上と要約力の習得を目指し、社会的な内容の英文を読み、文章の展開パターンを理解し、内容理解を行います。 語彙の強化も行います。	2/前	30	2	○	△		○								
73		○	Practical Reading Intermediate I A	読解力の向上と要約力の習得を目指し、社会的な内容の英文を読み、文章の展開パターンを理解し、内容理解を行います。 語彙の強化も行います。	2/前	30	2	○	△		○								
74		○	Writing to Explore International Culture 2 Advanced 1 I A	自国の文化と異文化をトピックに、毎回異なるライティングスタイルでまとめた量の英文を書き、発表します。 授業は週2回行い、毎週2回目の授業には留学生が参加し、留学生は自国の文化について説明をします。	2/前	30	2	○			○				○	○			
75		○	Writing to Explore International Culture 2 Advanced 2 I A	自国の文化と異文化をトピックに、毎回異なるライティングスタイルでまとめた量の英文を書き、発表します。 授業は週2回行い、毎週2回目の授業には留学生が参加し、留学生は自国の文化について説明をします。	2/前	30	2	○			○				○	○			
76		○	Practical Grammar Elementary I A	中学3年程度までの英文法を完璧に理解し、英作文や会話で自分の表現として使えることを目指します。 問題を解く形式で文法への理解を深めます。正しい答えを選ぶだけでなく、なぜ他の選択肢がダメなのかを自身で説明できるようにまで理解できることを目指します。	2/前	60	4	○			○				○	○			
77		○	Practical Grammar Pre-Intermediate I A	読解力の向上と要約力の習得を目指し、社会的な内容の英文を読み、文章の展開パターンを理解し、内容理解を行います。 語彙の強化も行います。	2/前	60	4	○			○				○	○			
78		○	Practical Grammar Intermediate I A	英文法を基礎からしっかりとやり直し、深く理解することによって、英語の土台を築いていきます。英文の仕組みが分かれば、会話や読解にも応用が効きます。	2/前	60	4	○			○				○	○			
79		○	World Voices Advanced 1 I A	This class is a listening-focused class where students practice listening to second-language English speakers from around the world as well as practice fluency points from native speakers. Listening activities are supplemented with readings about international topics, research, and informal class presentations.	2/前	60	4	○			○				○	○			
80		○	World Voices Advanced 2 I A	This class is a listening-focused class where students practice listening to second-language English speakers from around the world as well as practice fluency points from native speakers. Listening activities are supplemented with readings about international topics, research, and informal class presentations.	2/前	60	4	○			○				○	○			
81		○	Speak Up Elementary I A	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	2/前	60	4	○			○			○	○				
82		○	Speak Up Pre-Intermediate I A	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	2/前	60	4	○			○			○	○				
83		○	Speak Up Intermediate I A	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	2/前	60	4	○			○			○	○				
84		○	Both Sides of the Issues Advanced 1 I A	This class is intended to be an introduction to critical thinking, and uses readings, videos, and research to develop group presentations reflecting students' opinions.	2/前	60	4	○			○				○	○			
85		○	Both Sides of the Issues Advanced 2 I A	This class is intended to be an introduction to critical thinking, and uses readings, videos, and research to develop group presentations reflecting students' opinions.	2/前	60	4	○			○				○	○			
86	○		キャリアデザイン(基礎) I A	社会に出るにあたり、「自分の売りは何か」を見つけ、入社後に必要となる社会人基礎力を習得する。	2/前	30	2	○	△		○				○	○			
87	○		ICTリテラシー実践A	ICT技術を利用した業務遂行に必要な知識や技術の習得を目指す。	2/前	30	2	○			○				○	○			
88	○		国際時事サーチ2 1A	世界で起こっている時事ニュースをもとに、国際貿易への理解を深めます。	2/前	30	2	○	△		○				○	○			
89	○		プレゼンテーションIA	商業プレゼンテーションへの理解を深め、聞き手に配慮したプレゼンテーションの構成とその手法を学ぶ。	2/前	30	2	○			○								
90	○		World in Focus A	グローバル社会に対応した英語運用能力のうち、とりわけ非英語圏の、英語を第一言語としない話者同士での意思疎通の力の修得を目指す。授業内でアジア諸国の大学生・専門学校生とオンラインで意見交換することを前提として、口頭で紹介可能な文化交流トピックを取り扱います。	2/前	30	2	○			○					○	○		○
91	○		Business Showcase1 I B	ビジネスの場で活用できる社会的な英語力の修得を目指し、実践に即したロールプレイング形式等を用いてビジネス英語およびその活用方法を取り扱います。とりわけビジネスにおける挨拶、交渉、電話、プレゼンテーションなどで活用し得るスキルを身につけます。	2/後	30	2	○	△		○					○	○		
92	○		Business Showcase2 I B	ビジネスの場で活用できる社会的な英語力の修得を目指し、実践に即したロールプレイング形式等を用いてビジネス英語およびその活用方法を取り扱います。とりわけビジネスにおける挨拶、交渉、電話、プレゼンテーションなどで活用し得るスキルを身につけます。	2/後	30	2	○	△		○					○	○		

93		○	Business Workshop1 I B	国内業務から海外出張まで幅広い状況を想定し、各場面においての適切な表現、フレーズ、対応の仕方 やビジネス文化の違いなどを学びながらビジネス英語の観点から四技能を強化します。実践的なアプ ローチを取り入れグループワークを通して様々なシチュエーションに臨機応変に対応出来るようになる。	2/後	30	2	○	△	○	○								
94		○	Business Workshop2 I B	国内業務から海外出張まで幅広い状況を想定し、各場面においての適切な表現、フレーズ、対応の仕方 やビジネス文化の違いなどを学びながらビジネス英語の観点から四技能を強化します。実践的なアプ ローチを取り入れグループワークを通して様々なシチュエーションに臨機応変に対応出来るようになる。	2/後	30	2	○	△	○	○								
95		○	サーキットトレーニング1 I B	グローバル社会に対応した英語運用能力のうち、発話力の修得・改善を目指します。そのために豊富なア ウトプット学習の機会を設けて、英文法、発音、および英会話の基礎を取り扱います。	2/後	30	2	○	△	○	○								
96		○	サーキットトレーニング2 I B	グローバル社会に対応した英語運用能力のうち、発話力の修得・改善を目指します。そのために豊富なア ウトプット学習の機会を設けて、英文法、発音、および英会話の基礎を取り扱います。	2/後	30	2	○	△	○	○								
97		○	Global Issues 2 IB	多文化共生社会で求められる資質のうち、柔軟なコミュニケーションを支える教養、とりわけ世界共通の諸 課題について取り扱います。	2/後	30	2	○		○	○								
98		○	Global Issues 1 IB	多文化共生社会で求められる資質のうち、柔軟なコミュニケーションを支える教養、とりわけ世界共通の諸 課題について取り扱います。	2/後	30	2	○	△	○	○								
99		○	Weekly English Goals Elementary I B	GRIT(やり抜く力)を身に付け、英語学習に生かします。 その週の学習ポイントと目標達成までの進捗状況を担当講師と確認します。 毎日の学習状況を細かく記録し、学習成果を高めることを目指します。 勉強方法のTipsを学びオンライン問題に挑戦し、自律した学習者になるための習慣作りを行います。	2/後	30	2	○		○	○								
100		○	Weekly English Goals Pre- Intermediate I B	GRIT(やり抜く力)を身に付け、英語学習に生かします。 その週の学習ポイントと目標達成までの進捗状況を担当講師と確認します。 毎日の学習状況を細かく記録し、学習成果を高めることを目指します。 勉強方法のTipsを学びオンライン問題に挑戦し、自律した学習者になるための習慣作りを行います。	2/後	30	2	○		○	○								
101		○	Weekly English Goals Intermediate I B	GRIT(やり抜く力)を身に付け、英語学習に生かします。 その週の学習ポイントと目標達成までの進捗状況を担当講師と確認します。 毎日の学習状況を細かく記録し、学習成果を高めることを目指します。 勉強方法のTipsを学びオンライン問題に挑戦し、自律した学習者になるための習慣作りを行います。	2/後	30	2	○		○	○								
102		○	Writing to Explore International Culture 1 Advanced 1 I B	自国の文化と異文化をトピックに、毎回異なるライティングスタイルでまとめた量の英文を書き、発表し ます。 授業は週2回行い、毎週2回目の授業には留学生が参加し、留学生は自国の文化について説明をします。	2/後	30	2	○		○	○								
103		○	Writing to Explore International Culture 1 Advanced 2 I B	自国の文化と異文化をトピックに、毎回異なるライティングスタイルでまとめた量の英文を書き、発表し ます。 授業は週2回行い、毎週2回目の授業には留学生が参加し、留学生は自国の文化について説明をします。	2/後	30	2	○		○	○								
104		○	Daily English Elementary I B	This is a low to medium level class that teaches fun, frequently used English phrases. These phrases include slang, idioms and expressions that are often used but cannot be found in the dictionary and are typically not taught in school. The goal of the class is to remember English phrases. 毎回授業の最初に前週までに学んだ表現をビルドアップ方式で完全暗記をします。 コミック形式のライティングで学んだ表現のアウトプットを行います。	2/後	30	2	○	△	○	○								
105		○	Daily English Pre-Intermediate I B	This is a low to medium level class that teaches fun, frequently used English phrases. These phrases include slang, idioms and expressions that are often used but cannot be found in the dictionary and are typically not taught in school. The goal of the class is to remember English phrases. 毎回授業の最初に前週までに学んだ表現をビルドアップ方式で完全暗記をします。 コミック形式のライティングで学んだ表現のアウトプットを行います。	2/後	30	2	○		○	○								
106		○	Daily English Intermediate I B	This is a low to medium level class that teaches fun, frequently used English phrases. These phrases include slang, idioms and expressions that are often used but cannot be found in the dictionary and are typically not taught in school. The goal of the class is to remember English phrases. 毎回授業の最初に前週までに学んだ表現をビルドアップ方式で完全暗記をします。 コミック形式のライティングで学んだ表現のアウトプットを行います。	2/後	30	2	○	△	○	○								
107		○	Design your own Adventure Advanced 1 I B	This class focuses on building reading and research skills through using authentic English language websites.	2/後	30	2	○		○	○								
108		○	Design your own Adventure Advanced 2 I B	This class focuses on building reading and research skills through using authentic English language websites.	2/後	30	2	○		○	○								
109		○	Practical Reading Elementary I B	読解力の向上と要約力の習得を目指し、社会的な内容の英文を読み、文章の展開パターンを理解し、内 容理解を行います。 語彙の強化も行います。	2/後	30	2	○		○	○								
110		○	Practical Reading Pre- Intermediate I B	読解力の向上と要約力の習得を目指し、社会的な内容の英文を読み、文章の展開パターンを理解し、内 容理解を行います。 語彙の強化も行います。	2/後	30	2	○		○	○								
111		○	Practical Reading Intermediate I B	読解力の向上と要約力の習得を目指し、社会的な内容の英文を読み、文章の展開パターンを理解し、内 容理解を行います。 語彙の強化も行います。	2/後	30	2	○	△	○	○								

112		○	Writing to Explore International Culture 2 Advanced 1 I B	自国の文化と異文化をトピックに、毎回異なるライティングスタイルでまとまった量の英文を書き、発表します。 授業は週2回行い、毎週2回目の授業には留学生が参加し、留学生は自国の文化について説明をします。	2/後	30	2	○		○	○	○						
113		○	Writing to Explore International Culture 2 Advanced 2 I B	自国の文化と異文化をトピックに、毎回異なるライティングスタイルでまとまった量の英文を書き、発表します。 授業は週2回行い、毎週2回目の授業には留学生が参加し、留学生は自国の文化について説明をします。 build writing skills across a broad range of styles.	2/後	30	2	○		○	○	○						
114		○	Practical Grammar Elementary I B	高校中級程度までの英文法を完璧に理解し、英作文や会話で自分の表現として使えることを目指します。 問題を解く形式で文法への理解を深めます。問題を解くだけでなく、なぜ他の選択肢がだめなのかを説明できるまで理解を深めることを目標とします。	2/後	60	4	○		○		○						
115		○	Practical Grammar Pre-Intermediate I B	高校中級程度までの英文法を完璧に理解し、英作文や会話で自分の表現として使えることを目指します。 問題を解く形式で文法への理解を深めます。問題を解くだけでなく、なぜ他の選択肢がだめなのかを説明できるまで理解を深めることを目標とします。	2/後	60	4	○	△			○						
116		○	Practical Grammar Intermediate I B	高校卒業程度までの英文法を完璧に理解し、自分の表現として使えることを目指します。 問題を解く形式で文法への理解を深めます。	2/後	60	4	○		○		○						
117		○	World Voices Advanced 1 I B	This class is a listening-focused class where students practice listening to second-language English speakers from around the world as well as practice fluency points from native speakers. Listening activities are supplemented with readings about international topics, research, and informal class presentations.	2/後	60	4	○		○		○	○					
118		○	World Voices Advanced 2 I B	This class is a listening-focused class where students practice listening to second-language English speakers from around the world as well as practice fluency points from native speakers. Listening activities are supplemented with readings about international topics, research, and informal class presentations	2/後	60	4	○		○		○	○					
119		○	Speak Up Elementary I B	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	2/後	60	4	○		○		○	○					
120		○	Speak Up Pre-Intermediate I B	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	2/後	60	4	○		○		○	○					
121		○	Speak Up Intermediate I B	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	2/後	60	4	○		○		○	○					
122		○	Both Sides of the Issues Advanced 1 I B	This class is intended to be an introduction to critical thinking, and uses readings, videos, and research to develop group presentations reflecting students' opinions.	2/後	60	4	○		○		○	○					
123		○	Both Sides of the Issues Advanced 2 I B	This class is intended to be an introduction to critical thinking, and uses readings, videos, and research to develop group presentations reflecting students' opinions.	2/後	60	4	○		○		○	○					
124	○		キャリアデザイン(応用) I B	履歴書やエントリーシートの書き方を学び、書類選考突破のための効果的な表現方法を考え、自分のものにしていきます。	2/後	30	2	○	△		○		○					
125	○		キャリアサーチ I B	本コースの掲げる専門力の資質のうち、とりわけ主体性と批判的考察力の修得を目指し、多岐にわたる業界に関する学習項目を取り扱います。自身が将来携わる可能性のある業界や職種への見識を広げると共に、自己の適性や就労意識を考察します。	2/後	30	2	○		○		○	○					
126	○		ICTリテラシー発展B	ICT技術を利用した業務遂行に必要な知識や技術の習得を目指す。	2/後	30	2	○		○		○	○					
127	○		World in Focus B	グローバル社会に対応した英語運用能力のうち、とりわけ非英語圏の、英語を第一言語としない話者同士での意思疎通の力の修得を目指し、授業内でアジア諸国の大学生・専門学校生とオンラインで意見交換することを前提として、口頭で紹介可能な文化交流トピックを取り扱います。	2/後	30	2	○		○		○	○					
128	○		Business Showcase1 II A	ビジネスの場で活用できる社会的な英語力の修得を目指し、実践に即したロールプレイング形式等を用いてビジネス英語およびその活用方法を取り扱います。とりわけビジネスにおける挨拶、交渉、電話、プレゼンテーションなどで活用し得るスキルを身につけます。	3/前	30	2	○	△		○		○					
129	○		Business Showcase2 II A	ビジネスの場で活用できる社会的な英語力の修得を目指し、実践に即したロールプレイング形式等を用いてビジネス英語およびその活用方法を取り扱います。とりわけビジネスにおける挨拶、交渉、電話、プレゼンテーションなどで活用し得るスキルを身につけます。	3/前	30	2	○	△		○		○					
130	○		Business Showcase3 II A	ビジネスの場で活用できる社会的な英語力の修得を目指し、実践に即したロールプレイング形式でビジネス英語およびその活用方法を取り扱います。とりわけビジネスにおける挨拶、交渉、電話、プレゼンテーションなどで活用し得るスキルを身につけます。	3/前	30	2	○	△		○		○					
131	○		Business Workshop1 II A	ビジネスの場で活用できる社会的な英語力の修得を目指し、実践に即したロールプレイング形式でビジネス英語およびその活用方法を取り扱います。とりわけビジネスにおける挨拶、接客、交渉、電話、プレゼンテーションなどで活用し得るスキルを身につけます。	3/前	30	2	○	△		○		○					
132	○		Business Workshop2 II A	国内業務から海外出張まで幅広い状況を想定し、各場面においての適切な表現、フレーズ、対応の仕方やビジネス文化の違いなどを学びながらビジネス英語の観点から四技能を強化します。実践的なアプローチを取り入れグループワークを通して様々なシチュエーションに臨機応変に対応出来るようになる。	3/前	30	2	○	△		○		○					
133	○		Business Workshop3 II A	実際に国際的な現場で働くために必要なビジネス・ヒューマンスキルを英語で学びます。	3/前	30	2	○	△		○		○					

154		○	Japanese Culture1 II A	グローバル社会に対応した英語運用能力の修得を目指して、その運用能力の根幹となる自国のアイデンティティを表現する対象として、とりわけ<日本>の文化と歴史を取り扱います。	3/前	60	4	○	△	○									
155		○	Japanese Culture2 II A	グローバル社会に対応した英語運用能力の修得を目指して、その運用能力の根幹となる自国のアイデンティティを表現する対象として、とりわけ<日本>の文化と歴史を取り扱います。	3/前	60	4	○	△	○									
156		○	Japanese Culture3 II A	グローバル社会に対応した英語運用能力の修得を目指して、その運用能力の根幹となる自国のアイデンティティを表現する対象として、とりわけ<日本>の文化、生活様式を取り扱います。	3/前	60	4	○	△	○									
157		○	Cultural Anthoropology Honors II A	This course is an introduction to cultural anthropology with an examination of various cultures, tradition, and beliefs around the world.	3/前	30	2	○	△	○		○							
158		○	Journalism Honors II A	ライティング・テクニク、ビデオ・クリップ作成などジャーナリズムを実践的に学びます。	3/前	60	4	○		○			○						
159		○	TOEIC1 II A	TOEIC Listening & Reading 対策教材を使用し、英語を通した一般的な業務遂行に必要なコミュニケーション能力の向上を目指します。	3/前	90	6	○		○				○	○				
160		○	TOEIC2 II A	TOEIC Listening & Reading 対策教材を使用し、英語を通した一般的な業務遂行に必要なコミュニケーション能力の向上を目指します。	3/前	90	6	○		○					○				
161		○	TOEIC3 II A	TOEIC Listening & Reading 対策教材を使用し、英語を通した一般的な業務遂行に必要なコミュニケーション能力の向上を目指します。	3/前	90	6	○		○					○				
162		○	TOEIC4 II A	TOEIC Listening & Reading 対策教材を利用し、英語を通した一般的な業務遂行に必要なコミュニケーション能力の向上を目指します。	3/前	90	6	○		○					○				
163	○		キャリアデザイン(実践) II A	面接やグループディスカッション対策を中心に内定獲得へ向けた実践形式的授業を展開します。	3/前	30	2	○	△	○				○					
164	○		World in Focus A	グローバル社会に対応した英語運用能力のうち、とりわけ非英語圏の、英語を第一言語としない話者同士での意思疎通の力の修得を目指し、授業内でアジア諸国の大学生・専門学校生とオンラインで意見交換することを前提として、口頭で紹介可能な文化交流トピックを取り扱います。	3/前	30	2	○		○					○			○	
165	○		Financial Studies II A	人生100年時代を賢くいく抜くために、「金融リテラシー(お金や暮らしに関する知識や判断力)」を身につけ、「生きる力」を養う。	3/前	30	2	○	△	○								○	
166		○	Business Showcase1 II B	ビジネスの場で活用できる社会的な英語力の修得を目指し、実践に即したロールプレイング形式等を用いてビジネス英語およびその活用方法を取り扱います。とりわけビジネスにおける挨拶、接客、交渉、電話、プレゼンテーションなどで活用し得るスキルを身につけます。	3/後	30	2	○	△	○						○			
167		○	Business Showcase2 II B	ビジネスの場で活用できる社会的な英語力の修得を目指し、実践に即したロールプレイング形式等を用いてビジネス英語およびその活用方法を取り扱います。とりわけビジネスにおける挨拶、接客、交渉、電話、プレゼンテーションなどで活用し得るスキルを身につけます。	3/後	30	2	○	△	○							○		
168		○	Business Showcase3 II B	ビジネスの場で活用できる社会的な英語力の修得を目指し、実践に即したロールプレイング形式でビジネス英語およびその活用方法を取り扱います。とりわけビジネスにおける挨拶、接客、交渉、電話、プレゼンテーションなどで活用し得るスキルを身につけます。	3/後	30	2	○	△	○							○		
169		○	Business Workshop1 II B	ビジネスの場で活用できる社会的な英語力の修得を目指し、実践に即したロールプレイング形式でビジネス英語およびその活用方法を取り扱います。とりわけビジネスにおける挨拶、接客、交渉、電話、プレゼンテーションなどで活用し得るスキルを身につけます。	3/後	30	2	○	△	○								○	
170		○	Business Workshop2 II B	国内業務から海外出張まで幅広い状況を想定し、各場面においての適切な表現、フレーズ、対応の仕方やビジネス文化の違いなどを学びながらビジネス英語の観点から四技能を強化します。実践的なアプローチを取り入れグループワークを通して様々なシチュエーションに臨機応変に対応出来るようになる。	3/後	30	2	○	△	○								○	
171		○	Business Workshop3 II B	実際に国際的な現場で働くために必要なビジネス・ヒューマンスキルを英語で学びます。	3/後	30	2	○	△	○								○	
172		○	サーキットトレーニング1 II B	グローバル社会に対応した英語運用能力のうち、発話力の修得・改善を目指します。そのために豊富なアウトプット学習の機会を設けて、英文法、発音、および英会話の基礎を取り扱います。	3/後	30	2	○	△	○									○
173		○	サーキットトレーニング2 II B	グローバル社会に対応した英語運用能力のうち、発話力の修得・改善を目指します。そのために豊富なアウトプット学習の機会を設けて、英文法、発音、および英会話の基礎を取り扱います。	3/後	30	2	○		○									○
174		○	サーキットトレーニング3 II B	グローバル社会に対応した英語運用能力のうち、発話力の修得・改善を目指します。そのために豊富なアウトプット学習の機会を設けて、英文法、発音、および英会話の基礎を取り扱います。	3/後	30	2	○	△	○									○
175		○	Speak Up Pre-Intermediate II B	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	3/後	60	4	○		○								○	
176		○	Speak Up Intermediate II B	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	3/後	60	4	○		○								○	
177		○	Speak Up Advanced 1 II B	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	3/後	60	4	○		○								○	

178		○	Speak Up Advanced 2 II B	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	3/後	60	4	○	△		○		○	○	
179		○	Speak Up Pre-Honors II B	Focus on critical thinking, discussion, listening, pronunciation and vocabulary building.	3/後	60	4	○			○		○	○	
180		○	Business Honors II B	This class is designed as a preparatory course for students' job search and working life.	3/後	60	4	○	△		○		○		
181		○	Japanese Culture1 II B	グローバル社会に対応した英語運用能力の修得を目指して、その運用能力の根幹となる自国のアイデンティティを表現する対象として、とりわけ「日本」の文化と歴史を取り扱います。	3/後	60	4	○	△		○		○		
182		○	Japanese Culture2 II B	グローバル社会に対応した英語運用能力の修得を目指して、その運用能力の根幹となる自国のアイデンティティを表現する対象として、とりわけ「日本」の文化と歴史を取り扱います。	3/後	60	4	○	△		○		○		
183		○	Japanese Culture3 II B	グローバル社会に対応した英語運用能力の修得を目指して、その運用能力の根幹となる自国のアイデンティティを表現する対象として、とりわけ「日本」の文化、生活様式を取り扱います。	3/後	60	4	○	△		○		○		
184		○	Practical Reading Pre-Intermediate II B	読解力の向上と要約力の習得を目指し、社会的な内容の英文を読み、文章の展開パターンを理解し、内容理解を行います。語彙の強化も行います。	3/後	30	2	○			○			○	
185		○	Practical Reading Intermediate II B	読解力の向上と要約力の習得を目指し、社会的な内容の英文を読み、文章の展開パターンを理解し、内容理解を行います。語彙の強化も行います。	3/後	30	2	○			○			○	
186		○	Practical Reading Advanced I II B	読解力の向上と要約力の習得を目指し、社会的な内容の英文を読み、文章の展開パターンを理解し、内容理解を行います。語彙の強化も行います。	3/後	30	2	○			○			○	
187		○	Daily English Pre-Intermediate II B	This is a low to medium level class that teaches fun, frequently used English phrases. These phrases include slang, idioms and expressions that are often used but cannot be found in the dictionary and are typically not taught in school. The goal of the class is to remember English phrases. 毎回授業の最初に前週までに学んだ表現をビルドアップ方式で完全暗記をします。コミック形式のライティングで学んだ表現のアウトプットを行います。	3/後	30	2				○			○	○
188		○	Daily English Intermediate II B	This is a low to medium level class that teaches fun, frequently used English phrases. These phrases include slang, idioms and expressions that are often used but cannot be found in the dictionary and are typically not taught in school. The goal of the class is to remember English phrases. 毎回授業の最初に前週までに学んだ表現をビルドアップ方式で完全暗記をします。コミック形式のライティングで学んだ表現のアウトプットを行います。	3/後	30	2	○			○			○	○
189		○	Daily English Advanced 1 II B	This is a low to medium level class that teaches fun, frequently used English phrases. These phrases include slang, idioms and expressions that are often used but cannot be found in the dictionary and are typically not taught in school. The goal of the class is to remember English phrases. 毎回授業の最初に前週までに学んだ表現をビルドアップ方式で完全暗記をします。コミック形式のライティングで学んだ表現のアウトプットを行います。	3/後	30	2	○			○			○	○
190		○	Design Your Own Adventure Advanced 2 II B	This class focuses on building reading and research skills through using authentic English language websites.	3/後	30	2	○			○			○	○
191		○	Design Your Own Adventure Pre-Honors II B	This class focuses on building reading and research skills through using authentic English language websites.	3/後	30	2	○			○			○	○
192		○	Film Criticism Honors II B	In this course students will learn the fundamentals of film criticism and interpretation. Moreover, students will develop an understanding of film as both a reflection of a larger socio-historical construct and as an artistic medium.	3/後	60	4	○	△		○			○	
193		○	Daily English Pre-Honors II B	This is a low to medium level class that teaches fun, frequently used English phrases. These phrases include slang, idioms and expressions that are often used but cannot be found in the dictionary and are typically not taught in school. The goal of the class is to remember English phrases. 毎回授業の最初に前週までに学んだ表現をビルドアップ方式で完全暗記をします。コミック形式のライティングで学んだ表現のアウトプットを行います。	3/後	30	2	○	△		○			○	○
194		○	Daily English Advanced 2 II B	This is a low to medium level class that teaches fun, frequently used English phrases. These phrases include slang, idioms and expressions that are often used but cannot be found in the dictionary and are typically not taught in school. The goal of the class is to remember English phrases. 毎回授業の最初に前週までに学んだ表現をビルドアップ方式で完全暗記をします。コミック形式のライティングで学んだ表現のアウトプットを行います。	3/後	30	2	○	△		○			○	○
195		○	Cultural Anthropology Honors II B	This course is an introduction to cultural anthropology with an examination of various cultures, tradition, and beliefs around the world.	3/後	30	2	○	△		○			○	
196		○	Journalism Honors II B	ライティング・テクニック、ビデオ・クリップ作成などジャーナリズムを実践的に学びます。	3/後	60	4	○	△		○			○	
197		○	TOEIC1 II B	TOEIC Listening & Reading 対策教材を使用し、英語を通じた一般的な業務遂行に必要なコミュニケーション能力の向上を目指します。	3/後	90	6	○			○			○	○

198		○	TOEIC2 II B	TOEIC Listening & Reading 対策教材を使用し、英語を通した一般的な業務遂行に必要なコミュニケーション能力の向上を目指します。	3/後	90	6	○			○			○	
199		○	TOEIC3 II B	TOEIC Listening & Reading 対策教材を使用し、英語を通した一般的な業務遂行に必要なコミュニケーション能力の向上を目指します。	3/後	90	6	○			○			○	
200		○	TOEIC4 II B	TOEIC Listening & Reading 対策教材を利用し、英語を通した一般的な業務遂行に必要なコミュニケーション能力の向上を目指します。	3/後	90	6	○			○			○	
201	○		World in Focus B	グローバル社会に対応した英語運用能力のうち、とりわけ非英語圏の、英語を第一言語としない話者同士での意思疎通の力の修得を目指し、授業内でアジア諸国の大学生・専門学校生とオンラインで意見交換することを前提として、口頭で紹介可能な文化交流トピックを取り扱います。	3/後	30	2		○		○			○	○
202	○		Financial Studies II B	ファイナンシャルプランナー3級テキストを使用し、社会人に必要な税金、住宅ローン、保険、教育資金、年金制度など、お金に関わる幅広い知識を学びます。	3/後	30	2	○	△		○			○	
203	○		ビジネスマナー II B	実際のビジネス現場で困らない必要最低限のビジネスマナーを学びます。	3/後	30	2	○	△		○			○	
合計					科目 180単位 (2700単位時間)										

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件 :	2550時間	1 学年の学期区分	2 期
履修方法 :	170単位を取得すること ・選択必修科目の履修方法は別紙にて明示 ・学則上の「必修科目」と「必修科目」は同一・企業連携科目は履修が必修の科目 ・卒業に必要な総授業時数を満たしていれば、卒業は可能だが、カリキュラムに記載している必修及び選択必修の科目はすべて履修することを定めている	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。